

ボラ♥ほっと

発行:北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター(TEL:0568-25-8500) 編集:北名古屋市ボランティア連絡協議会

ふれあいつェスタ 2014

北名古屋市健康ドーム
平成26年11月23日(日・祝)
午前9時～午後2時30分予定

※詳しくは広報北名古屋

11月号折込みチラシをご覧ください。



ふれあいつェスタから...

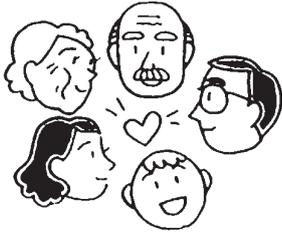
★北名古屋市ボランティア連絡協議会は、ボランティア体験や模擬店を担当しています。さわやかな秋の一日にご家族そろってお出かけ下さい。

わたしたちは



こんなことをしています!

No.20



ボランティアをやってみようかな…?と思ってもどんなグループがどんな事をしているのか分からないのでは先に進めませんね。ボランティアセンター登録のグループはたくさんあります。今回は『すみれ』というグループを紹介します。

すみれ



照井 トシ子会長

私たちは平成10年4月『あいせの里』開設に向けたボランティア養成講座を受講したメンバーでスタートをしたグループです。

『あいせの里』では、月に3回程度のデイサービスのお手伝いをしています。お茶の用意をしたり、施設の皆さんが楽しみにしておられるバイキング料理の日には、付き添ってお好みの物の取り分けなど。また、日曜日のお昼は、特別養護老人ホームの食事介助のお手伝いをさせていただいています。

福祉実践教室では、高山朋子講師と一緒に車いす体験のお手伝いをしています。他の施設の祭り等にもボランティアとして参加をしています。

このように私たち『すみれ』は幅広く、多くの方と協力して楽しくボランティア活動をしています。年を重ねても会えば元気が出る仲間です。細く長〜く続けられればいいなと思っています。ぜひ皆さんも『すみれ』に気軽に声をかけて下さいね。

あいせの里 “デイサービス”



6/18 (水)

食事(バイキング料理)配膳のお手伝い

あいせの里 “夏祭り”



8/3 (日)

おもてなし武将隊(前田 慶次さん)と握手

福祉実践教室 “車いす体験”



6/13 (金)

★レポート★

師勝東小学校6年生を対象とした『福祉実践教室』がありました。

まず、高山朋子講師が車いす生活の体験談を話していました。車いすは自分で動かすのが基本なので介助をする時は、乗っている人に聞いてから介助をするようにと伝えていました。体験は2人ペアになり交代で車いすを押します。途中、父兄の飛び入り参加もあり結構苦戦されていました。



北名古屋おもちゃ西病院

設立10周年を迎えました！

6/29 (日)



児童センター『きらり』2階にて

ひまわりの会

7/12 (土)

陽だまりハウスで、ひまわりの会結成40周年の記念事業として「楽しく学ぼう！防災ピクニック」が行われました。参加者は各自、非常用の防災用品の入ったリュックを持ち



大高良治氏

寄っていました。それをボランティアと付き添いのヘルパーさんが点検。袋の中には、食料（レトルト食品・缶詰）と水・下着・ロープ・携帯ラジオ・健康保険の写し等いっぱい入れてあった人や、何年か前に入れてそのまま持っている人もいて様々でした。

市防災指導監の大高良治氏から被災した時一番大変なのはトイレの問題で、身近にある段ボールやポリバケツ、ビニール袋での簡易トイレの作り方を習い、各グループで話し合いながら作りました。昼食には、器にラップを敷いてレトルトの混ぜご飯やカレーを美味しく頂きました。

皆で協力しながら、楽しく進めていくことに意義があるのだと思いました。【広報 大野】



リュックの中身
簡易トイレ製作→



平成26年度 ボランティア研修会

8月30日(土)もえの丘ふれあい健康ルームで渡辺哲雄氏の講演会『渡辺哲雄の昭和回想録～よみがえる昭和の暮らし～』が行われました。社協のHPのボランティアセンターのページに掲載しましたのでご覧ください。

<http://www.kitanagoya-shakyo.jp/volu-center.html>

平成16年6月19日に設立した『西春おもちゃ病院』は皆様のお蔭で、10周年を迎えることができました。当初は2名だけのスタートでしたが、今では11名のスタッフまでに成長し、毎月最終日曜日に開院をしています。

開催場所も西春町役場内に始まり、旧西庁舎分館の2階、文勤ロビーと場所を変更し、今年5月からは新設された児童センター『きらり』2階のわくわくルームに開催場所を得て、スタッフ全員気持ちを新たに頑張っています。

最近のおもちゃは、電子部品が多く苦労もありますが、みんなの知識や技術を出しあって修理を行い、完成した後の喜びをかみしめています。ましてやそれを受け取る子どもさんの喜びの顔を見たり、「ありがとう」と言われた時は、この上もなく「ああ、やっていて良かった」と思います。体の続くかぎり、子ども達のために頑張る覚悟で、新しい技術の習得も勉強したいと思っています。動かなくなったり、壊れたおもちゃを待っています。【代表 峰村 郁央】

北名古屋市手話サークル連絡会

社協本所にて「お元気(会)かい？」が開かれました。ろう高齢者の心身の変化の早期発見のために2か月ごとに西尾張地区内持ち回りで開いています。当日は、地元北名古屋市手話サークル連絡会の会員が準備し、ろう高齢者や介護委員、協力員の合わせて42名が参加しました。午前は、保健師と理学療法士による健康指導と体操。全員で仲良く昼食。午後は、防災ボランティアさんから“エコカッパ”“新聞スリッパ”の作り方を教えて貰いました。

17市町村の距離を超え、部屋の隅から隅に手話が飛び交い(手話って便利!)あちらこちらで笑顔が見える会でした。

【会長 加藤 あゆみ】

7/15 (火)



〒481-0033

北名古屋市西之保藤塚93番地

北名古屋市社会福祉協議会

ボラ・ほっと係

E-mail: fukushi@kitanagoya-shakyo.jp



師勝北小学校で《防災集会》があり、北なごや防災ボランティアがお手伝い!

8/4 (月)



体育館でパワーポイントを使って
防災マップの作り方を分かりやすく解説



防災〇×クイズではあちらこちらから笑顔が・・・

夏休みの出校日の全体集会で「防災マップを作ろう」と防災クイズを北なごや防災ボランティアが担当しました。

「忘れない!! 東日本大震災、自分の命は自分で守る」として災害に備え、非常持出し品、食料の備蓄など「今すぐ、出来ることからはじめよう!」とみんなで学びました。

「防災マップを作ろう」では、今住んでいる地域を歩いて調べ、保護者や地域の人たちと一緒に防災に役立つ所や危険な所を書きとめ、それを持ち寄り、意見を出し合っって防災マップにまとめるという方法について説明しました。これから作る子ども達の防災マップが楽しみです。

防災クイズは10問出題しましたが、学年で解答に違いがあり、活気あふれる子ども達の反応に感激しました。参加して下さったPTA役員の方から「今日の子供達は、消火栓を探しながら帰ってくるでしょうね」と嬉しい感想を頂きました。

防災ボランティアとして、このような素晴らしい企画に参加させて頂いた事をチャンスとし、これからも防災啓発に頑張っていきたいと思っています。

【北なごや防災ボランティア 山下 喜三子】

告知板

眠っているおもちゃをご提供下さい!



◆使わなくなった「おもちゃ」は、ありませんか? 壊れていてもかまいません。壊れたおもちゃは修理し、汚れは清潔にして、ふれあいフェスタ2014のリユース広場でご来場の方に整理券を配布して差し上げる予定です。

◎ご提供していただく場合は

おもちゃ病院開院日をお願いします。

●北名古屋おもちゃ病院 (もえの丘 第1日曜日)

●北名古屋おもちゃ西病院



(児童センターきらり 最終日曜日)

※11月23日(日・祝日)健康ドーム
『ふれあいフェスタ2014』の中で
《おもちゃリユース広場》を開催します。

エッセイ Say

愛知学院大学日進キャンパスへ手打ちうどんゼミの講師として招かれました。大学生20名が、調理学実習室で手打ちうどんの実技を演習しました。

調理学では、うどんを美味しく作る事によって、心身がどのように変化して活性化していくかという研究です。

この歳になって大学に行き講演をするとは夢にも思いませんでした。粉から、練り、寝かせ、延ばし、茹でまでの一連の作業を実施しました。寝かせる時間帯をリラックスタイムとして設け、「お金」を使ったマジックショーを披露しました。

今回のことを機会に何事にも挑戦していこうと思っています。過ぎた過去より、前を見て前進していく

姿勢の大切さを学びました。

北名古屋麺友会
中川 成光

